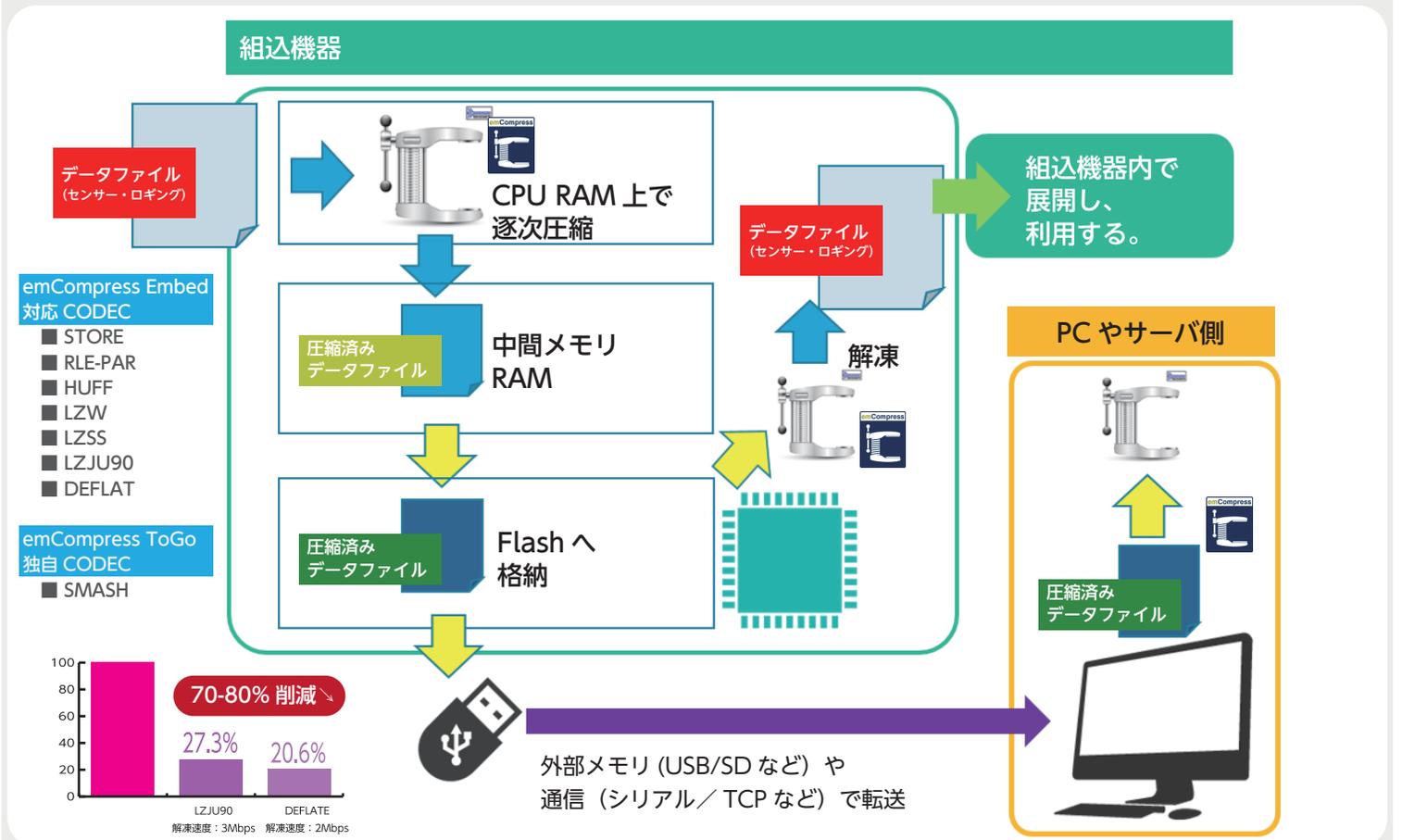


解決すべき課題

データローガやセンサーノードなどデータ収集を目的とした組込機器において、大量のデータ保持、転送は大きな課題です。より低コストな生産を実現するためにメモリの少ないマイコン、フラッシュを搭載すること。より低速な通信でも安定的にデータを転送できる仕組みを構築することが、データを効率的に運用するため、求められます。

emCompress で圧縮解凍を利用したシステム構成イメージ



emCompress 圧縮システムで限られた低サイズ ROM (内蔵フラッシュ等) に組込みアプリケーションコード又はデータを圧縮状態で保存して、システム実行中に動的にターゲットメモリに展開することが出来ます。またストリーミング圧縮に対応しており、ターゲット上で、受信したデータを圧縮することが可能です。圧縮データを外部メモリや通信で転送し、外部環境でデータ活用を行うこと。ターゲット上で解凍プログラムが展開したデータは RAM にコピー又はアプリケーション指定の関数に転送できます。独自技術 Small Microcontroller Advanced Super High (SMASH) Compressor により組込製品に大きなリソースを使うことなく実装が可能な仕組みです。

emCompress

システム要件に合わせて、パッケージを選択

emCompress製品モデル：

	emCompress Embed	emCompress Flex	emCompress ToGo
ターゲット上データ解凍	✓	✓	✓
ターゲット上データ圧縮	✗	✗	✓
静的データの解凍	✓	✓	✓
ファイル・ストリームデータの解凍	✗	✓	✓
エンピテック型番	MB-EMCMP-EMBED	MB-EMCMP-FLEX	MB-EMCMP-TOGO
パッケージ内容	パソコン用圧縮ツール (バイナリ)、解凍プログラム (ソース)、デモサンプル	パソコン用圧縮ツール (バイナリ)、解凍プログラム (ソース)、デモサンプル	圧縮プログラム (ソース)、解凍プログラム (ソース)、デモサンプル

✓ サポート ✗ サポートなし

■ 圧縮時リソース使用量

Mode	ROM	RAM (client)	RAM (stack)
Memory-to-Memory	1.4 KB	0 bytes	256 bytes
Function-to-Memory	1.6 KB	300 bytes to 192 KB	256 bytes
Memory-to-Function	1.4 KB	0 bytes	256 bytes
Function-to-Function	1.6 KB	300 bytes to 192 KB	256 bytes

■ 解凍時リソース使用量

Mode	ROM	RAM (client)	RAM (stack)
Memory-to-Memory	0.9 KB	0 bytes	256 bytes
Function-to-Memory	0.9 KB	0 bytes	256 bytes
Memory-to-Function	0.9 KB	300 bytes to 128 KB	256 bytes
Function-to-Function	0.9 KB	300 bytes to 128 KB	256 bytes

利用製品：emCompress ToGo CPU: Kinetis K66, Cortex-M4, 168 MHz, run from flash